

# 武豊町地域公共交通会議 第23回 会議 議事録

日時：平成28年6月28日（火）

15:00～17:00

場所：全員協議会室

## 1. 会長あいさつ

### ○事務局

- ・ただいまから「武豊町地域公共交通会議」の第23回会議を開催させていただきます。
- ・委員の皆様方には大変お忙しい中、ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。
- ・本日、事前にお送りしました資料をお持ちでない方はいらっしゃいますか。
- ・それでは、会議資料の次第に従いまして、取り進めさせていただきます。はじめに、開会にあたりまして、会長であります町長の初山からごあいさつさせていただきます。

### ○初山町長（武豊町長）

- ・こんにちは。大変お世話になっております。本日は、ご多忙の中、出席いただきありがとうございます。また、平素は町行政や地域公共交通会議等に対して、ご協力をいただき、感謝と敬意を申し上げます。
- ・本日は、今年度、最初の交通会議です。昨年度は10月に赤ルートを半田市に乗り入れました。2月にはラッピング等事業のリニューアルを行いました。
- ・また、今年度10月から、コミュニティバスの運行事業者を、知多乗合からレスクルに変更する予定です。各事業者には、安全、安心の運行をお願いします。
- ・バス事業の状況について、利用客は増加し、5月1か月の利用者は4,000人を超す過去最高の数値でした。ルート変更後は、1日100人程度の利用で、これまで90人でしたので、10人増加しています。皆さんに知っていただいたことが増えた要因となっていると思います。
- ・乗合タクシーについて増加している状況にあります。
- ・地域交流センターが4月にオープンしました。施設の紹介と併せて、公共交通の利便性をPRしながら、生活の足として使っていただくよう、PRしていきます。住民のための福祉的バスとして、また、親密感を持っていただけるようにしていきたいと思う。
- ・本日の協議事項ですが、報告4件、議案1件、その他2件を予定しています。慎重なご議論をお願いします。よろしくお願いいたします。

## 2. 新しい委員の委嘱等について

### ○事務局

- ・資料1-1 武豊町地域公共交通会議委員名簿をご覧ください。
- ・委嘱状を交付させていただきます。

## 3. 活発で良い議論ができる会議のために

### ○渡辺委員代理（愛知運輸支局）

- ・資料2 リーフレット 説明

○事務局

- ・本日は、委任状を3名の委員（名簿番号 10、11、16 番）の方からいただいております、代理出席していただいております。
- ・また、3名の委員（名簿番号 3、4、18 番）の方から欠席の報告を受けておりますが、過半数を超える委員の方のご出席を頂いておりますので、規約に定める開会要件を満たしております。
- ・この会議は公開で行い、開催内容につきましても町のホームページなどで広くお知らせしますのでよろしく願いいたします。それでは伊豆原先生、恐れ入りますが、議事のとり進めよろしく願いいたします。

○伊豆原座長

- ・リーフレットについては、昨年度1年間議論され、市民代表から意見が出せない、わかりにくいという意見をいただいた会議があり、運輸局にて作成した。疑問点等があれば、どんどん質問をしていただきたい。それではさっそく議事に入ります。

## 4. 議事

### ●報告事項1 武豊町コミュニティバス・タクシーの利用実績について

○事務局

- ・資料3、4説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございます。利用実績について説明いただきました。ご質問、ご意見ありますか。よろしいですか。住民から反応など、事務局に何か届いていますか。

○事務局

- ・反応については、イオン半田店への乗り入れで、利便性がよくなったと聞いています。
- ・子育て支援課と保育園に出前講座（説明）を実施しています。青ルートของバス車内に園児の絵を掲載するようにしました。週末の親子の利用促進につなげています。

○伊豆原座長

- ・利用者増は良いことです。我々もうれしいと思う。周囲の方に、本日の会議のことをお話をいただきたい。子供たちの絵が飾ってあることを話題にしていきたい。

○小縣委員（長尾部長）

- ・利用されている年齢層はどうか。

○事務局

- ・高齢者の方が多い。定年を過ぎた方で、女性が多い。病院に行かれる用途が多いです。
- ・最近、夕方の家族の利用も見られるようになりました。

○小縣委員（長尾部長）

- ・病気で、発作が出た時の対応はどうか。最近、防災の検討も対応しており、万が一の対応も考えて欲しいです。

○事務局

- ・緊急対応について、運行事業者と協力して対応している。

○伊豆原座長

- ・安全運行の中には、そうした対応も含まれていると思う。

○森下委員（老人クラブ連合副会長）

- ・時刻表には、乗合タクシーの時刻表がのっていない。自分は手帳に時間を書いて対応している。

○事務局

- ・事業変更にあわせて時刻表を作成しなおした。前回の時刻表については、タクシーの時刻表を掲載していたが、便数増加に伴い全てを掲載すると字が小さくなってしまうため、バスの時刻表の10分前に停車するとした。冊子では情報量が多く、見にくいと判断して掲載しなかった。

○森下委員（老人クラブ連合副会長）

- ・実際の時間がないと分かりにくいと思う。タクシーの停留所には、カードをぶらさげるとか、工夫をしてもらえると良い。

○事務局

- ・時刻表の裏側に、時刻表カードを作成できるように準備した。個人のカードを作って頂くように準備している。この時刻表でわからない場合、お問い合わせいただくようにしています。
- ・また、利用促進友の会とレシピカードを作成した。停留所にボックスを準備して、レシピカードを配置させていただいたことがある。ただ、雨でレシピカードがダメになったこともあり、停留所に配置することはどうかと思う。ホームページによる情報発信など考えたい。

○伊豆原座長

- ・コミュニティバスとの接続をせず、乗合タクシーだけの利用については、指摘のとおりわかりにくいということだろう。

○事務局

- ・説明、PR対応を進めたい。

○山田委員（愛知県タクシー協会）

- ・乗合タクシーは、利用者数が増えていることは喜ばしい。乗合の状況はどうか。

○事務局

- ・概ね1%程度の発生状況です。

○伊豆原座長

- ・乗合タクシーの制度は、乗合利用は難しいです。コミュニティバスを延長した仕組みですが、必要とするバス停留所の地点までバスを巡回することが難しい場合がある。それらの地点をカバーするために乗合タクシーを導入しているため、乗合利用するのは難しい。
- ・この地域も男性の利用が少ない。男性の利用を増やすためのお知恵をお借りしたい。実績が増えていることは良いことですので、ますます増えていくようにお知恵を頂ければと思う。
- ・当該報告事項について確認させていただいたとして、次の議事に移ります。

## ●報告事項2：平成27年度武豊町地域公共交通事業の事業内容及び会計報告について

○事務局

- ・資料5-1～5-6説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございます。平成27年度の事業結果、会計報告です。

○小縣委員（長尾部長）

- ・フィーダーとはどういう意味か。

○事務局

- ・幹線に接続する支線です。青ルートがフィーダーで、赤ルートが半田市に乗り入れる地域間幹線系統と指定されます。

○伊豆原座長

- ・複数の市町村をまたぎ利用の多いルートを地域間幹線系統と定義づけられます。木の幹のようなもので、フィーダーは木の幹につながる枝になります。
- ・後ろの議案でも補助金について協議しますが、半田市に乗り入れることになり、地域間幹線系統という位置づけになり、補助金が高くなりました。今年の10月以降の補助金は、次の議案で確認します。
- ・利用が増えてきたこと、補助金の支援により町の負担は約半分の1,000万円になっています。今後は補助金額の削減が見通されるため、利用促進による運賃収入の拡大が重要になります。
- ・当該報告事項について確認させていただいたとして、次の議事に移ります。

●報告事項3（協議事項）：10月以降の運行事業者の選定について

○事務局

- ・資料6説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございます。ご質問、ご意見ありますか。

○渡辺委員代理（愛知運輸支局）

- ・10月1日からのコミュニティバスの運行事業者が、知多乗合からレスキルに転換される。運行申請手続きについて、事業変更申請をお願いしたい。そのためには、ダイヤ・ルート等の協議事項について、当該協議会にて協議が整ったとして、支局への報告をお願いしたい。
- ・乗合タクシーについても、事後報告ではなく、協議結果が整ったとして報告してほしい。書面協議でもかまわない。  
(会議後確認事項:乗合タクシーについて、事業者選定結果が現状の事業者から変更がない場合は、特に変更申請手続きの必要性が生じないため、協議事項としての扱いではなく、(書面)報告手続きで構わない。)

○事務局

- ・コミュニティバスの新たな運行事業者について、レスキルでよいという合意をお願いします。
- ・乗合タクシーについては、入札不調のため再度選定事務を進めます。7月末までに選定して合意の手続きをお願いしたい。
- ・乗合タクシー事業者の選定結果の報告・協議のためだけに、会議開催・出席していただくのは負担が大きいため書面協議対応とさせていただきたい。その確認をお願いしたい。

○伊豆原座長

- ・新しい事業者のレスキルは、南知多町の海っこバスを運行している実績があります。レスキルによる運行についてよろしいでしょうか。

- ・ご異議はないので、レスクルについて合意いただいたとします。
- ・次に、乗合タクシーは事業者選定を再度行い、書面協議をお願いします。この手続きもよろしいでしょうか。
- ・ご異議ありませんので、了承いただいたとします。
- ・議事としては、報告事項から協議事項に変更して、議事録をまとめてください。

#### ●報告事項4：停留所の新設について

(コミュニティバス「地域交流センター」・乗合タクシー「長尾基地」)

##### ○事務局

- ・資料7説明

##### ○伊豆原座長

- ・昨年度に設置の了承をいただいたバス停です。その最近の状況報告です。ご質問、ご意見ありますか。地域交流センターでイベントをされる時は、関係者にイベントの報告を行う際にコミュニティバスの時刻情報を、お知らせすることをお願いします。

##### ○天木委員（武豊町商工会長）

- ・今すぐには無理だと思うが、コミュニティバス（青ルート）は一方向の運行なので、役場から地域交流センターに行く場合、行きは30分、帰りは5分になる。両方向あると便利であるため、そういう意見があることを報告しておきたい。

##### ○伊豆原座長

- ・サービス上げるにはお金がかかる。たくさん利用されれば投資の判断ができるが、今の時点ではその必要性があるだろうか。

##### ○小縣委員（長尾部長）

- ・シャトルバスの運行をしたらどうか。

##### ○伊豆原座長

- ・ご意見として伺うこととします。交流センターの利用増加が先で、公共交通の利用につながればと思う。ご意見ありがとうございました。次の議事に移ります。

#### ●第2号議案：平成29年度生活確保維持改善計画（案）について

##### ○事務局

- ・資料8説明

##### ○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。今年の10月からの補助金申請のための計画についての説明です。ご質問、ご意見についていかがでしょうか
- ・武豊町は、交通網形成計画を策定しました。交通網形成計画を策定していないところは、補助金ももっと減額されています。交通計画を策定しておいてよかったと解釈してください。
- ・事務局への確認のお願いです。赤ルートの目標値を計画に掲げておいてよいか確認ください。地域間幹線系統は県から目標数値の報告を行いますので、その数値とずれていないか、確認しておいてください。フィーダーの申請と同じ場所で整理しておいてよいか。参考値程度にしておくべきかもしれない。
- ・事務局からの報告のとおり、計画については愛知運輸支局のチェックがあり、確認後、報告する

ことになる。必要に応じて修正等が必要なためその調整を事務局に一任していただきたい。

○勝田委員（知多乗合株）

- ・計画の最後の名簿について、6月28日の段階ですが、知多乗合の名前だけでなくレスクルの名前も入れておいた方が良くはないか。

○伊豆原座長

- ・愛知運輸支局と相談してください。どのような表現がよいか調整して決めてください。
- ・他にありますか。無いようなので、計画について承認してよろしいでしょうか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・委員全員から承認をいただいたとして、第2号議案を認めさせていただいたものとします。ありがとうございました。

## 5. その他

### ●平成28年度利用促進事業の活動について（利用促進友の会の活動）

○櫻場委員（利用促進友の会）

- ・最近の活動について報告します。コミバスぶらりミニツアーを実施した。地域交流センターに行こうという企画です。憩いのサロンで案内した。定員15人としたのに担当二人をいれて、19人の応募があった。サロンでの案内により企画は盛り上がった。まだ利用していない人がいたので、今後もサロンでの案内を進めたいと思う。人気が出そうな企画として手ごたえを感じた。
- ・国土交通省総合政策局のメールマガジンにおいて、利用促進友の会の活動が取り上げられた。トピックスで紹介された。

○伊豆原座長

- ・国土交通省から全国に展開するメールマガジンの第90号に掲載された。全国の代表例として取り上げられたことになる。国土交通省総合政策局メールマガジンで検索できますので、確認ください。全国で取り上げられることは良いことだと思う。

<事務局報告>

### ●産業まつりに合わせたコミュニティバス無料利用の実施（2016/11/12～13）

### ●見える化の取り組みについて

- ・国、県で推進している時刻表の見える化について、ナビタイムジャパンとの提携を結んだ。インターネット上で調べられるようになる。現在申し込みをしており、7月上旬にサービス提供される予定。ホームページや広報等でお知らせする予定。

○伊豆原座長

- ・無料利用の実施は、負担の方法により協議事項になる。無料で、その欠損分を町が負担をしないのであれば協議事項になる。

○事務局

- ・不足分は町で負担するので協議運賃ではない。報告事項として取り上げさせていただいた。

## ●その他

### ○櫻場委員（利用促進友の会）

- ・利用促進事業について、サンキュー事業として利用者の 39 番目に乗車された方にサプライズとしてミニプレゼントを進呈しています。以前はゆめころんから 56 番目だった。青ルートの利用が 56 番目にならないことがあり 39 番目にした。また、憩いのサロンにも利用券を配布させていただいている。

### ○大岩委員（社会福祉協議会長）

- ・憩いのサロンとバス停との距離はどうか。

### ○櫻場委員（利用促進友の会）

- ・近いサロンとすこし遠いところがある。

### ○大岩委員（社会福祉協議会長）

- ・サロンによっては午前だけ、午後だけ、1日のところもあるので、利用促進方法は工夫ください。

### ○小縣委員（長尾部長）

- ・住民代表として参加しています。区への利用促進のために、老人会などが開催される際には紹介してもらいたい。

### ○事務局

- ・出前講座を実施しています。お伺いして説明しますので、対応機会を調整いただきたい。

### ○山口委員代理（愛知県）

- ・チラシの説明。エコモビ推進表彰の案内をさせていただく。
- ・8月3日まで募集している。広報の協力をお願いしたい。

### ○伊豆原座長

- ・どんな団体、グループでも、会社でも構わない。
- ・その他いかがでしょうか。
- ・自動車交通だけでは交通は成立しない。いろいろな乗り物、公共交通も含めた手段による仕組みが必要です。よい仕組みに育てていきましょう。

## 5. 閉 会

### ○事務局

- ・伊豆原先生、議事進行ありがとうございました。閉会にあたりまして、町長よりごあいさつをさせていただきます。

### ○初山町長（武豊町長）

- ・長時間にわたり、議論いただきありがとうございました。
- ・いくつか宿題を頂戴したと思います。活用方法の解説、男女の利用の差の解消、憩いのサロンの活用、交通事業者の選定対応、地域交流センターでのPR対応などについて頂戴しました。
- ・多くの人に利用して頂けるような仕組みにしていきたい。本日は、ありがとうございました。

以上